

## “自分のやりたい分野に力を入れている大学” 神戸女学院大学を志望した理由です

文学部英文学科 1 年生

(神戸海星女子学院高校出身)

### 【神戸女学院大学を選んだ理由】

私が受験勉強に本腰を入れ始めたのは高校 3 年生の夏頃でした。当時私は国際的なことに興味があり、その様な分野に力を入れている大学へ進学したいと考えていました。しかし、なかなか私が思う大学が見つからず、その状態のまま秋が過ぎ、冬になってしまいました。このままではいけないと悩んでいた時、母から「神戸女学院大学はどう？」と提案がありました。

最初は「ネームバリューのある大学でもあり、選択肢の一つにするのも良いな。」と軽い気持ちで考えていました。取りあえず色々と願書を取り寄せ、中身を確認していたその時、偶然手に取ったのが神戸女学院大学の大学案内で、なぜか「これは見なくては！」と思いたちました。私が神戸女学院大学に出会った瞬間です。まず目に飛び込んできたのは美しい建物の写真。それからというもの、一日中大学案内に見入っていました。

私が神戸女学院大学の受験を真剣に考え出したのは、先ほどお話した通り冬頃でしたので、勿論オープンキャンパスにも大学祭にも行ったことがありませんでした。この道で正しいのかと不安を感じつつ、住宅街を通りその先に現れたのが、この神戸女学院大学。あまりの美しさに試験の緊張すら忘れてしまうほど感動していたことを今でも覚えています。「必ずここで大学生活を過ごすぞ！」という気持ちで試験に臨みました。

### 【私の受験対策】

私は、一般入試前期A日程で受験しましたので、試験科目は英語と国語でした。英語は長文がメインに出題されました。長文読解で特に役立ったのが、単語力です。たとえ、文型や文章構造が分からなかったとしても、単語の意味が分かればその文章の大まかな内容を捉えることができますし、和訳の完成度アップにもつながります。単語力をつけることは、皆さんにとってきっと合格への近道となるはずです。ですから、今から入試直前まで単語の暗記は欠かさず行って下さい。目と耳の両方を使うと記憶がより定着すると聞いていたので、私は単語帳を片手に耳にはその単語帳のCDを流して、行き帰りの電車の中で覚えています。また、入試では書く力も必要とされます。英文の内容が理解できても、それらを和訳として紙の上に書く作業は案外難しいものです。神戸女学院大学の英語の試験は筆記もあるので、英作文、和訳共に書く練習をするとよいと思います。国語に関しては、ことわざや四字熟語の穴埋め問題が難しく感じました。他の受験生にとっても難しい問題を確実に得点することで、一歩リードすることが可能なので、国語常識の対策に関しても、気を抜かずに取り組むべきだと思います。何よりも大切なことは、「諦めない」ことだと思います。



大学受験は、決して楽なものではありません。逃げ出したいと思ったこともありました。しかし、この受験を通して改めて気づかされたことがたくさんあります。その一つが「人のあたたかさ」です。ストレスや緊張に押しつぶされそうになったとき、友達の「一緒に頑張ろう！」という一言や、夜食の横にそっと置いてあった「今日も頑張ってるね！」というメモに何度救われたかわかりません。たった一人で頑張っているなどと思わないでください。皆さんの周りには皆さんを心から応援して下さる人がいるのだということを忘れないでください。

### 【大学生活について】

私が感じているキャンパスライフの魅力を皆さんに少しお話ししたいと思います。多くの授業が少人数制のため、先生方との距離がとても近く授業の質問は勿論、留学のことや勉強法など、どんなことでも親身に相談にのってくださいます。学内では、大学祭実行委員やオープンキャンパスの学生スタッフとして活動しました。これらに参加しているということもあり、同学年だけでなく、先輩方との関わりをより持つことができるようになりました。私の大好きなこの神戸女学院大学の良さをこうして皆さんに少しでも伝える機会を持つことができ、とても嬉しく思うと同時に、やりがいを感じています。

クラブは、International Student Association、頭文字をとって I.S.A クラブに所属しています。このクラブには神戸女学院大学を含め、計 5 大学が参加しており、週に一度 100 人以上の学生が集まり、毎回、1つのテーマについてディスカッションやディベートを行っています。また、夏休みや春休みなどといった長期休暇を利用して、韓国やフィリピンなどに行き、異文化交流やボランティアを行ったり、様々な国の学生を日本に呼び、ディスカッションやプレゼンテーションを通して、今の世界について真剣に考えたりと様々なプログラムに参加することが可能です。日本の他大学の学生とだけでなく世界中に人と人との繋がりを持つことができ、とても楽しいです。このように、この神戸女学院大学は、学生自身にやる気さえあれば、多くのことに挑戦することができる、その機会を提供してくれる場所でもあるのです。

最後に皆さんに一つ質問があります。皆さんは「高校ではできないが、大学ではできることとは何か？」と聞かれたら、どの様なことを思い浮かべますか？私は自分のやりたい、興味のある分野を思う存分学ぶことが出来ることだと思っています。私自身、神戸女学院大学を選んだ理由の一つに「自分のやりたい分野に力を入れている大学だから」ということが挙げられます。皆さんも是非、「私は何を学び、何を得る為に大学に行くのか」と言うことをしっかりと考え、目標を持って頑張ってください。

この美しいキャンパスで大切な4年間を過ごしてみませんか？来年の春、また皆さんにお会いできることを楽しみにしています。

